

報 告 書

開催日時	平成 26 年 5 月 16 日（金）午後 7 時 00 分～ 8 時 30 分	
開催場所	生出多目的集会センター	
出席議員	挨拶 及川 修一班長（教育民生常任委員会委員長）	
	司会進行	大坪 涼子
	報告者	及川 修一
	記録者	鶴浦 昌也
	議員	大坂 俊、松田 信之、清水 幸男
参加人数	市民 13 人、市職員 1 人	
主な要望 ・ 提言等	<p>1. 行政区 13 区内の水路で、ヒューム管が壊れた箇所があり修理してほしい。これまで何度か土砂災害があり壊れた。また、河川に大きな木の枝がかかり、大水がでるとゴミが引っ掛かる。そのような枝は切ってもいいのか。</p> <p>2. 農作物へのシカの被害が多い。最近は電気柵の補助はあるが、網を設置するための補助金がなくなったと聞いたがどうか。個人への補助だといつになるかわからず、地域で申請すると早く補助をもらえるというのは本当か。</p> <p>3. 大雨時に土石流が田んぼへ流れた。ある家にはボランティアが来て撤去してくれたが、違う家には来なかったことがあった。</p> <p>4. 県道世田米矢作線沿いにある空き家を見回って管理しているが、ある時に水が入った。途中まで側溝が整備されており、その家まで延長してもらいたい。時折訪れる家人が衛生面から石灰をまいていたが効果があるのか疑問。</p> <p>5. 議会報告会のあり方について、各会場には地元の議員が少なくとも一人は出席してほしい。地名や地域事情を話しても、ほかの議員だと分かりにくい。</p> <p>6. 県道世田米矢作線の改良については前回の議会報告会や機会あるごとに出ている要望だと思う。これまで議会として何らかの動きをしてきたのか。単に「市当局に伝えておく」だけか。子どもの使い、子どもの用足しに終わっていないか。これだと議会報告会への参加も少なくなる。</p> <p>7. 前回、市立博物館を生出地区にという要望もあったはず。そのことについてはどうなったのか。前回の議会報告会で出された意見や要望についてどうなったか聞かせてほしい。</p>	

8. 公共施設は高田町に一極集中させるのではなく、分散させられないか。被災者の住宅も津波被害のない地域に分散させられないか。
9. 川沿いにある田んぼの周りに高さ6メートルものブロックを積んだ場所がある。とても危険で、市職員だと思うが赤いポールを立てていたものの、そのままになっている。
10. 生出の一番の課題は、狭い道路の改修だと思う。特に冬場になると危険で人が定住しにくい。どうすれば改修されるのか、改修できるのか。あるいは、どこに申請すればいいのか、より住みよい、住みやすい生出にするための方法を住民にアドバイスしてほしい。
11. 新年度予算の中で生出地区に関する事業は何かあるか。
12. 昨年の大水で被害に遭った場所でも赤い杭ひとつも立っていない場所がある。
13. 旧生出小学校の市立博物館に向かう道路が陥没した箇所があったが、なかなか改修されなかった。復旧に時間がかかりすぎる。
14. 川底や河川は県の担当か。的場地内の河川に数カ所、鉄筋の連結ブロックを入れた場所がある。雨で流され、鉄筋も切れている。県の担当者にも話したことがあるが改修されていない。
15. 昨年、コミセンの事業計画に県道世田米矢作線の改修に向けて市当局や市議会に陳情しようと思ったができかねた。いずれ陳情しようと思うが、どうすればいいか教えてほしい。お願いすればすぐに手をかけてくれる方法を指導してほしい。住田町の地域とも一緒に要望した方がいいのか。
16. 国道343号沿いに県が新笹ノ田トンネルを整備するという話を聞いたがどうか。ループ橋が整備された当時から下にトンネルがあったほうが良いと思っていた。
17. 今年3月の大雪による雪害で道路や川に木が倒れた。特に洪水が起きた場合、橋に引っかかって川が氾濫するのではないか。
18. 震災復興と治山に関係し、高台移転が進められることによって林業振興計画が反故（ほご）にされ、山の開発が行われている。大きな雨の災害があったら、里山、里川、里海がなくなることが考えられる。国の林業振興にマッチした新しい市の林業計画を策定してほしい。治山対策を行わなければ水産都市としての広田湾への被害が大きくなる。緑が少なくなるだけならいいが、山の乱開発になってはいないか。今まで、陸前高田市は県内一番の人工林率64%を達成していたが、それが減少した。もちろん復興は大切で、高台移転する被災者住宅の敷地造成は必要だが、整合性のある開発をお願いしたい。
19. 行政区13区の三ノ戸から上の地域は上水道がなく沢水を利用している。水道がほしいという声が多く、整備されるには10年もかかる

	<p>とされている。一年でも早く整備されるようお願いしたい。</p>
<p>所 感</p>	<p>【及川 修一】 コミュニティ維持のためにとの思いから、道路の整備や公共施設建設などの要望が多く出された。未給水対策についての質問もあり、震災復興などとは違った、本市の抱える問題を垣間見た思いだった。議会報告についての在り方について、参加議員に地元の者がいないなどの問題があるのではなどの提言も受けた。</p> <p>【大坪 涼子】 報告会への参加の呼びかけに区長さんの協力があった。地域の情報をもっと示してほしい、地元の議員の出席がなぜなかったのかという不満の声が聞かれ議会報告会のあり方も考えさせられた。また、地区とすれば雪や大雨の被害など、地域の大事な課題も多いことを痛感した。被災していない地域ではあるが、地域のことで議会や市と話し合っていくことが大切と思った。</p> <p>【鶴浦 昌也】 地域の活性化や定住促進のためにも道路整備の必要性を強く感じたほか、高台移転とともに治水対策や未給水対策を進めることの重要性について大変参考になった。また、議会報告会のあり方についての意見もあり、議会内でさらに検討する必要があると思った。</p> <p>【大坂 俊】 沢水の治水管理、河川改修、樹木の雪害など地区特有の治水治山対応などの意見が多く、長期的な林業振興計画、治山対策の必要を訴える声があがった。すなわち、矢作川、気仙川下流地域、広田湾への影響を懸念する声であり、今後の復興開発事業の考慮すべき重大な事であると考ええる。 また、この地区の議員が同席していなかったため、地区課題の林道についての意見のなかで、地区地名についての議員の理解が不十分で、地区選出議員の同席を求める意見があった。同地区議員の同席は、一考の余地ありと感じた。</p> <p>【松田 信之】 地域の災害復旧に対する質問や意見が多く、また、今後の地域づくり・地域の在り方としての提言や希望が聞かれた機会であった。</p> <p>【清水 幸男】 生出地区は、度々大雨により県道、市道の損壊に見舞われ、主要路線である県道世田米矢作線の改修が強く求められ、今までの経過を踏まえながらも早期改修の要望方法等の検討が求められる。 また、各地で防災集団移転等の災害復旧事業が進められているが、</p>

	「森・川・海」の連携が保てる治水対策と森林保全の検討の必要性の声も寄せられた。
--	---

議会広聴広報特別委員会

広聴小委員会小委員長 松田 信之 殿

平成26年6月6日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成26年度議会報告会教民班

班 長 及 川 修 一 ⑩